

# 地域共生ステーションづくりワークショップ(第7回)結果

## 1 概要

- (1) 日時 平成24年10月18日(木)午後7時から午後9時
- (2) 場所 長久手市役所西庁舎 3階 研修室
- (3) 参加者25名 事務局：市長、たつせがある調整監 他3名
- (4) 配布資料 地域共生ステーションのコンセプトを考えよう！

## 2 市長講話

これまで、私たちは収入を得るため都会に出て仕事をし、地域のことは役所に任せてきた。しかし、2050年に向かって人口減少時代に入っており、全国には300万人の認知症の人がいる。今後は長久手市においても、高齢者が増えることは確実で、全てを役所で行うことは出来なくなっていく。もう一度、市民と市役所の関係を作り直していく必要があると考えている。

市民が市役所のやったことを批評するのではなく、当事者となり市役所と一緒に考えて考え、まちづくりを進めていただきたい。長久手の方言で育つという意味の『しとなる』という言葉があるが、みなさんの力でまちを『しとねて』(育てて)いただきたい。

そのための場所のひとつが、地域共生ステーションであり、大きさ、形態、運営の方法に各地域によって特徴があってよいと思う。

そのためにもお互いがまちのことを知り、情報を共有する必要がある。まちづくりの基本計画である総合計画といっても知っている市民はほとんどいない。市でも「市政まなび舎」、「市民記者」、「市政サロン室」等の取り組みを始めており、市の職員にもまち出たり、他の市町に行き、いろいろなことを見て、聞いて新しい提案をするように言っている。また、市からののお知らせは、現在、広報紙とホームページしかないが、もっとたくさんの方のまちの人に知ってもらえるような方法を考えていきたい。

地域福祉計画の策定、市民祭り等も市民の皆さんに考えてもらって、作っていただけるような取り組みを始めている。これまで50年かけてできた仕組みをすぐに変えることは難しいと思うが、遠回りをしても良いので、これから長い時間をかけて取り組んでいきたい。そのはじめの一歩として、地域共生ステーションをみなさんと一緒に考え、作っていきたい。

### 3 今後の進め方

#### (進行役)

前回のワークショップで「ふらっと小屋あ」～一人ひとりが主人公～というコンセプト（キャッチコピー）が決定した。これからは地域共生ステーションづくりを具体的に進めていく。第1ステーションをどのように整備していくか、また、まだ白紙の状態である次のステーションの具体的な場所探し等、このワークショップの場でこれからの地域共生ステーションづくりの進め方を決めていきたいと思う。

#### (参加者)

候補地のある西小学校区は西小学校区で具体的に進めていけば良いと思う。他の小学校区は別で場所探しから始めてはどうか。今は形が見えていないが、進めていけば形が見えてくる。市長の講話を聴いていて、子どもたちのころにつくった冒険小屋を作ったらいいと思った。

#### (参加者)

物事を進めるためには、ある程度の知識が必要。まずは他市町の施設等に視察に行って知識を得てから具体的に進めていくべきではないか。

#### (参加者)

市長は失敗してもいいからやればよいと言っているのだから、西小学校区は場所が決まっているのだから、具体的な打ち合わせにすぐ入りたい。

#### (進行役)

2つに分かれるか、それとも一緒にやっていくかで意見が分かれると思うが、双方の歩み寄りについてはどうか。

#### (参加者)

2つの部会に分かれて進めて構わないと思う。お互い無理に一緒に進めるよりも別れて進めた方が良く思う。

#### (参加者)

第1ステーションを作っていくにあたり、レイアウト・活用・運営をどのようにしていくか考えなければならないが、今はまだ何も決まっていないため、今後進めていくにあたって大きな壁となる。それはどの小学校区でも同じことで、一つまずは西小学校区で第1ステーションづくりをしていきたい。二転三転しながら、落ち着くまでは10年はかかると思うが、これも一つのチャレンジであると思う。そういう意味で私は分けてやるべきではないかと思う。

**(参加者)**

第1ステーションについては候補地があるが、西小学校区の人だけでどうするかを考えるより、あと1~2回は皆で話し合い、何をするかある程度具体的な方向性を決めてから分かれた方がいいと思う。

**(参加者)**

西小学校区は、会議する場が少ないため、第1ステーションに会議室を設けてほしいと市長あてに要望書を提出している。その実現のため、ワークショップで皆と一緒に考えなければいけないと思って参加している。第1ステーションは西小学校区のメンバーを中心に進めていきたい。完全に分離するわけではなく、第1ステーションの検討状況を次のステーション部会の人達にも逐一流していけばよいと思っている。

**(参加者)**

「ふらっと小屋あ」というコンセプトは良いが、このコンセプトをすぐに地域共生ステーションとして実施するのは難しいと思う。コンセプトは将来的に目指すべき理想とし、まずは一番必要な会議室をつくるためのレイアウトを考えたり、会議に必要な運営を考えたりしていきたい。その後で、5~10年かけてそれ以外のものを足していけばよい。

**(参加者)**

西小学校区の方々は(他の小学校区と)分けて進めたいと言うが、具体的にどういうメンバーで進めていくのか。

**(参加者)**

地域共生ステーションワークショップに参加している人に加え、西小学校区に住んでいる人で要望書を出した人たちや有志の方々に参加してもらおう。それぞれの校区には地域性があるので、各小学校区でそれぞれで考えた方がよいと思っている。

**(参加者)**

会議室が欲しいというだけなら、地域共生ステーションだけでなく、別の方法があるのではないか。会議だけというなら集まる場所があればできるのだから、例えば文化の家の会議室や公民館の会議室でもいいのではないか。会議室にこだわりすぎなのではないか。

**(参加者)**

西小学校区の要望書は、地域共生ステーションの話が始まる前に出したものではないのか。それを今の地域共生ステーションに当てはめるのはどうか

と思う。

**(参加者)**

今日初めてワークショップに参加した。今までワークショップを何回やっているか知らないが、もう少し具体的に動いているか思った。施設のレイアウトも決まっていないし、実際に施設を見に行くという話も出ていない。何も具体的に進んでいない。こんな会議なら5年あっても地域共生ステーションはできない。会議室が欲しいというのはよく分かるが、長久手市民がいつでもだれでも使える地域共生ステーションなのだから、もっと大きな視点で見ないといけないと思う。

**(参加者)**

私たちは一つの組織だけの会議室ではなく、地域の方皆が集まる場が欲しいと言っている。単に会議の場所が欲しいだけではない。

**(参加者)**

5ヶ月前と状況が何も変わっていない。「ふらっと小屋あ」という言葉は非常にあいまいだが、誰が来てもいいよという大きな意味を持っている。西小学校区の人には会議室をつくりたいという思いでとても焦っているが、西小学校区の皆さんの言葉に、他の小学校区に住む者として自分たちは拒否されているという思いを抱いてしまった。「ふらっと小屋あ」は誰が来てもいいという意味なのに、会議で使う場所だと言って、拒否されてしまうような気がする。会議室をつくるのは賛成だが、誰が来てもいいよというコンセプトの意味は守ってほしいと思う。

**(参加者)**

コンセプトを無下にする気はない。まずは地域のみんなが集まって話をする場として会議室をつくり、そこから広げていけば良いという思いでいる。

**(参加者)**

会議室というのは地域共生ステーションの中のほんの一部で、他のスペースは誰もが気軽に立ち寄れる場所にするという思いを持っている。

**(参加者)**

今日初めてワークショップに参加したが、「ふらっと小屋あ」というコンセプトから、地域共生ステーションづくりは、ふらっとお茶でも飲みに行くかという場所をつくるのかと思っていた。

**(参加者)**

ワークショップが始まったときから議論は進んでいないという人もいる

が、それでも以前はあった目に見えない市民と行政との不信感が、少しずつほぐれてきているように思うので、何もなかったという事はないと思う。ここまでの過程というのはとても大事だったと思う。あわてる必要はないと思う。

#### (進行役)

目に見える成果はコンセプトしかないなので、進んでいないという印象を受けるのも無理のないことかもしれない。でも住民としての意識は少しずつ変わってきていると感じている。いろいろな話し合いを積み重ねてきた結果このコンセプトが出来上がった。だから、以前と状況が変わっていないと今までのことを否定せずに次のステップを考えていきたいと思う。

#### (参加者)

今まで皆不満も言いながらここまで来たが、最終的に皆で納得して決めたコンセプトが「ふらっと小屋あ」になったことが本当に嬉しかった。いろいろ話し合いながらだったが、皆がこのコンセプトに納得したということは、すごく大きなことだと思う。「ふらっと小屋あ」というコンセプトがあれば何とでもなると思った。行き違いはあるが、整理すると結局同じ方向に向いているのではないかと思う。他の小学校区の人には来なくていいよと言われると拒絶された思いになるが、西小学校区の人にも第1ステーションのワークショップに来て構わないという気持ちがあるなら、出てよいのではないか。西小学校区以外の方が邪魔をするわけでもないし、第1ステーションの会議室の隣に喫茶スペースを作るといったアイデアを出すとか、第1ステーションをつくる手伝いをしたいと思う人が集まることできるようにすればいいと思う。皆の思いは同じだと思う。

#### (進行役)

そのとおりだと思う。コンセプトを決定するとき、皆が同じ方向を向いた瞬間があったと思った。ただ、今はこのまま進めるにあたって、分けるか分けないかを決めていかなければならないが、もし分けたとしても全体会みたいにして互いの進捗状況など情報を共有できる場があればよいのではないかと思う。

#### (参加者)

私はそれでは納得できない。方向は同じ方向を向いているのだから、自分たちの小学校区のステーションについては自分達でやるというのではなく、ワークショップ全体で一緒にやればいいのではないか。

**(参加者)**

人口構成等を考えたとき、校区ごとに地域特性というものがある。地域ごとの問題点が何かという事を話し合ったときに、他の小学校区の人がいると議論が広がって進んでいかなくなるのではないか。第1ステーションについて具体的に進めていくのなら、まずは地域ごとにまとまってやってみるべきだと思う。議論するためだけに集まるよりも、具体的に何か始め、次のステップへ進んでいきたい。全体の話としては「ふらっと小屋あ」というコンセプトを決める話し合いの中でまとまっている。

**(参加者)**

「ふらっと小屋あ」というコンセプトに決めたのなら、それを頭に置いて、施設のレイアウトを考える等、具体的に次のステップに進まないと、何回やってもこのまま前進しないような気がする。

**(参加者)**

地域によって特性、多様性があるが、共通性もないと長久手市としての地域共生ステーションにはならない。

**(参加者)**

「ふらっと小屋あ」で何か作ろうというのが地域の共通性。市長が近所の喫茶店やアパートに集まるのも良いと言ったように、その地域に合わせた「ふらっと小屋あ」の在り方をその地域で検討すればいい。

**(参加者)**

西小学校区は、候補地の施設があるのだからレイアウトを考えるなどして動き出さないと進んでいかない。

**(参加者)**

会議室だけが欲しいのではなく、地域の皆さんが集まれる場所が欲しいというだけだ。第1ステーションのレイアウト、活動、運営を決めていくが、これはとても紆余曲折するもので、10年以上かけてようやく良いものができる。その間皆でいろいろなことを考えていけば良い。

**(進行役)**

各小学校区が混じり合い、みんなと一緒に進めていくことはやはり難しいのではないかと改めて思った。ただ、全体で意見・成果を共有していくというのはとても大切なことだと思う。2つに分けるが、進捗状況やアイデア、成果などを共有できる全体会のようなものを設けつつ、分科会という形でそれぞれ進めていくというのはどうでしょうか？

**(参加者)**

2つに分けること自体はいいが、両方に参加できてもいいのではないかな。

**(進行役)**

それでいいと思う。それぞれは分科会だが、2つはまったく別のものではないという共通認識でいきたい。

**(参加者)**

西小学校区はとりあえず見本になるということでプレッシャーになると思う。その他の小学校区は傍聴として入っていくのかなど、入り方を考えていかなければならない。

**(参加者)**

2つに分けてもこれまでと変わらず、あまりいい意見は出てこないと思う。候補地のある西小学校区だけが動き出してしまわないかな。

地域性を重視するのなら各小学校に分けて、そこで出た意見はとりあえず場所がある西小学校区にこうしたらいい、こういうのも作ってと、要望を出したらいい。

**(参加者)**

西小学校区の候補地が皆でつくる地域共生ステーションというのなら、全体で進めていくべきだが、地域の共生ステーションというのなら、西小学校区以外の地域はまずは候補地探しを各小学校区で行い、ここを候補地にしてこういうことをやろうという検討を各小学校区で相談し合った方が具体的なのではないかな。

**(参加者)**

市役所が出した資料はあくまでも一案に過ぎないのだから、どのように分けていくかは、私たちが決めていけばよいことで、各小学校区で分かれるということになれば各小学校区で話し合っていけばよいのではないかな。

**(参加者)**

市役所が出した資料は、今までのワークショップの結果を経て市役所側が出した資料なのではないかな。

**(事務局)**

今回出した資料は一案に過ぎないのでどんどん変えていってほしいと思います。場所が決まっている第1ステーションでは具体的に進めていきますが、他の地域ではここがいい、空き地を使って小屋をつくりたいなど、自然発生的にいろんなものが出てくるということも良いと思っています。

**(参加者)**

地域共生ステーションの単位を小学校区に限定する必要は全くないと思う。

**(参加者)**

今までの意見をまとめると、①みんなで第1ステーションのことを考えていく。②メンバーを第1ステーションとその他で分けて考えていく。③メンバーを分けるが、定期的にお互いの進捗状況を報告し共有し合う。この3つの案に分けられると思うので、そのうちの一つに決めてから、そこから校区ごとの話に移って話し合っていてはどうか。

**(参加者)**

施設の活用、運営方法を既に具体的にイメージしている人が、積極的にこういう運営方法で施設をつくるということを示し、その人がいるグループはその人の意見を尊重していく進め方でないといけないと思う。

他の小学校区の人でも第1ステーションの運営に関わっていくのなら良いが、そうでないのなら、他の小学校区の人がいろいろと言っても仕方がないと思う。

**(参加者)**

西小学区はモデルになると思うので、まずは、今後このように決めていくという方針を示し、第1ステーションのことで集まる日と他の小学校区のことで集まる日とを別々に設け、参加を自由にするのはどうか。その際、話し合う内容をある程度示しておけば話し合いは進んでいくのではないかと思う。

**(参加者)**

まずは、第1ステーションの現場に行ってみてはどうか。現場を開放して皆が自由に施設を見学できる日を設けてはどうだろうか。

**(参加者)**

まずは現場を見なければ何の計画も立たない。そこへ実際に行ってある程度のレイアウトを考えて、そこから活用方法を考えればいい。ハコを見なければ、活用方法は見いだせない。

**(参加者)**

私も賛成です。とにかく現場の作業に入って、ペンキが塗りたい。



**(参加者)**

市長が前に言われたように、リタイアした人たちの中に、建築屋さんやペンキ屋さん等がいるのだから、その人たちにどんどん活動してもらえるといい。

**(参加者)**

建物の中を見ないことには、活用方法は浮かんでこない。

**(参加者)**

長久手に新規就農して3年目になる。朝市、または軽トラ市がやりたいと思って参加した。場所があり、形や仕組みさえできれば、いつでも先陣を切って活動を開始できる。実際に動きながら考えていくのもありではないだろうか。

**(参加者)**

確かに小学校区で集まる場所が欲しいというのもあるが、市長の話にもあったように10~20年後、子どもが少なくなっていく中で次世代のために何ができるのかということが大切だと思う。だから、私たちは自分たちで地産地消をPRして、農作物を売っていきたいと考えている。ステーションはそういう場所であってもいいと思う。そのようなことも考えていくと将来につながっていくのではないかと思う。実際的な地域の課題ではないと思われるかもしれないが、そういうこともとても大切だと思う。

**(参加者)**

本日の資料に各小学校区の組織づくり検討とあるが、最終的に各小学校区で作るということがはっきり決まってから西小学校区の整備を具体的にスタートすべきだ。西小学校区だけが先行するのはまずいのではないかと思う。「ふらっと小屋あ」は誰もがふらっと寄ることができる場所にすることを目的としていると思った。

ステーションにおいて、自治会などの会議を行うのはいいと思う。ただ、1つの団体だけが占有して担うのではなく、様々な団体が共有できるといい。それによって本来のつながりができる。横のつながりがなければ、まちづくりはできないと思う。だから、全体が集まる大きな部屋は必ず必要で、その半分を個々の会議室のスペースとしてつくってもいい。前回のワークショップの議事録から、皆さんがまちづくりを真剣に考えているという事がひしひしと伝わってきた。

**(進行役)**

この場で話し合っているだけでも煮詰まってしまうので、まずは皆で現場を見学しつつ、これからどうするか西小学校区の皆さんにイニシアチブをとってもらって話し合いをしていくのはどうか。

**(参加者)**

見に行っても同じだと思う。意見は結局まとまらずに終わると思う。

**(参加者)**

ワークショップのときにたくさんのアイデアが出た。それをどう具体化させていくか、誰が主導していくかを考えていかなければならないが、現状では目指していく状態に進んでいかない。

**(参加者)**

一度、第1ステーションの施設に行ってそのレイアウトを考えてみるのはどうか。西小学校区の人にイメージを出してもらってから、それをもって皆で会議をするのはどうか。

**(参加者)**

第1ステーションの進捗状況などの情報は随時流していく。いろいろと言われるが、私たちは住民のことを思ってやっている。西小学校区のメンバーで第1ステーションの検討を進めていきたい。会議を傍聴するのは構わない。

**(参加者)**

西小学校区の方は皆に進んで良いと言ってもらえないと前に進むことができない。分かれるのか、一緒に行くのか。皆の意思を確認すれば進むようになるのではないかと。多数決をとってはどうか。

※ワークショップを2つに分けて進めていく人は12人で、分けずに進めていく人は11人でほぼ半々の状況。また、参考までに当日の参加者の居住する小学校区を聞いてみると西小学校区8人、南小学校区2人、北小学校区3人、東小学校区2人、長久手小学校区4人、市ヶ洞小学校区0人という状況でした。

**(参加者)**

西小学校区以外の校区の方はまだ出席者が少ない。まずは、西小学校区における第1ステーションを始めていけば良いのではないかと。

## （事務局）

本日の皆さんの話を聞いていて、やはり地域の中の居場所が必要だという皆さんの強い思いを感じました。また、地域の中でいろんな人に声をかけてステーションを盛り上げていきたいという強い意志を感じました。

今、目に見えた形で第1ステーションとなる旧JAながくて西支店という物件があります。ワークショップの中で「まずはやってみよう」という意見をいただいたので、第1ステーションからまずは始めていきたいと思います。

第1ステーションへの関わり方は、会議をする人、現場作業する人など様々ですが、まずは実際に現地に行き、そこで何ができるかを想像してみてください。

現在、旧JAながくて西支店の中は、机など何も無い状態で、そこでの会議はできないため、近くの集会所を利用するなどして、地域における議論を始めていきたいと思います。施設のレイアウトや活動内容、管理運営方法を考えることは大変なことですが、皆さんのエネルギーをもって始めていきましょう。

次回のワークショップは第1ステーションとなる旧JAながくて西支店の現場見学という形で行います。現地に入れる日時をあいち尾東農協と調整したうえで皆さんにご連絡します。

（以上）

# 地域共生ステーションづくりワークショップ(第7回)

## 次 第

日時：平成24年10月18日(木)

午後7時から8時30分まで

場所：市役所西庁舎3階 研修室

### 1 市長講話

「地域共生ステーション」を拠点とした地域づくり

### 2 今後の進め方

#### 【配布資料】

資料 今後の進め方について考えよう！

#### ★地域づくり講演会 スタッフ募集

講演会の運営を一緒にできるボランティアスタッフを募集します！

■従事時間 10月21日(日) 8:00~12:30

(8:00 西庁舎3階研修室前集合)

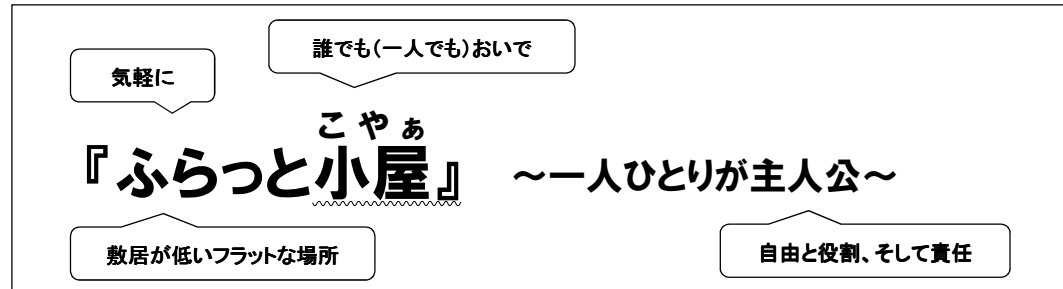
■従事内容 会場設営、受付補助、来場者会場案内 ほか

■募集人員 5~6人程度

◎本日、ワークショップ終了後、1階市政サロンにて打合せを行います。

## ★今後の進め方について考えよう！

コンセプト  
(キャッチコピー)



「誰でも気軽に立ち寄ることができて、一人ひとりが役割をもって活躍できる場所」

まず、ひとつ  
やっていくグループ

### 第1ステーション部会

- 施設のレイアウト検討
- 施設の活用方法や地域活動の内容
- 施設の運営方法と運営組織づくり

★Aコープながくて西支店を「第1ステーション」として具体的な検討を進める！

ぼちぼちやって  
いくグループ

### 次のステーション部会

- 候補施設探し(まち歩き)  
(空き家、空き店舗、公共施設、ほか)
- 地域活動のアイデア出し
- 各小学校区の検討組織づくり

★次のステーション開設に向けて検討を進めていく！

ステーション体感イベントの開催！